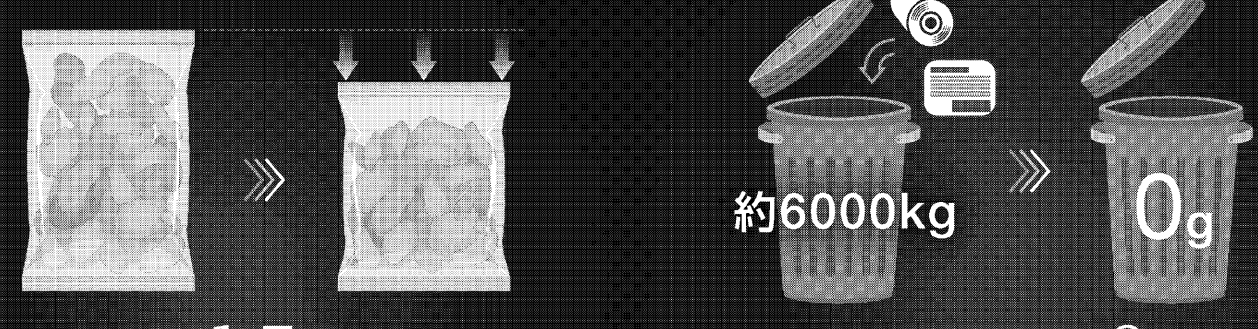


ISHIDA
はかりしれない技術を、世界へ。

もう、悩ませない

生産性を落とさず環境貢献。



袋長 15%削減*

商品をかたまりにして充填する
縦ピロー包装機

リボン・ラベル 0g

包装時、フィルムへ
直接印字するプリンター

*1)商品による(当社調べ) *2)トッピング用10000個/日×365日生産した場合、ラベルは100×120mm(印字領域)相当の場合

JAPAN PACK 2023
東6ホール 6-524
イシダブースへ!



株式会社 **イシダ** <https://www.ishida.co.jp>

東京支社 東京都板橋区板橋1丁目52番1号 〒173-0004 TEL.(03)3962-4300(直)
大阪支店 大阪府吹田市江の木町26番20号 〒564-0053 TEL.(06)6310-9282(直)



“できたらいいな”を
「カタチ」にする
HANAGATA 株式会社
です
〒939-8033 富山県富山市横内417 TEL:076-425-1545
営業所・ショールーム：東京・大阪・福岡
<https://www.hanagata.co.jp>



ブースNo. 東4ホール 4-303

スマートフォンから
リモートオペレーション
を実現!

自動段取り機能を搭載!
世界で唯一のL型自動包装機

未来への包程式 その先へ

包装産業の展示会「JAPAN PACK 2023」(日本包装産業展)が10月3〜6日の4日間、東京・有明の東京ビッグサイト東展示棟2〜6ホールで開催される。主催は日本包装機械工業会。開場時間は10時から17時まで。今回は「未来への包程式」当り前のその先へ」がテーマ。入場無料で完全事前登録制。詳細は公式ウェブサイト(www.japanpack.jp)へ。

同展は1964年に、費期限の延長などに大 廃棄後に適正処理がな 1回目を開催し、今回 大きく貢献してきたが、 されなごことによる海

包装産業では、昔は 機械単体の自動化が求 められることが多かつ たが、今は製造工程全 体での自動化が求めら れている。搬送、セッ ト、少量多品種生産に おける段取り替えなど の工程を、自動で行え る製品やソフトウェア などが出てきている。 プラスチック削減の 動きや製造工程全体の 自動化など、包装業界 のトレンドに即する展 示や発表が、本展でも 多く見られることが予 想される。

「包装業界では、昔は 機械単体の自動化が求 められることが多かつ たが、今は製造工程全 体での自動化が求めら れている。搬送、セッ ト、少量多品種生産に おける段取り替えなど の工程を、自動で行え る製品やソフトウェア などが出てきている。 プラスチック削減の 動きや製造工程全体の 自動化など、包装業界 のトレンドに即する展 示や発表が、本展でも 多く見られることが予 想される。」

「包装業界では、昔は 機械単体の自動化が求 められることが多かつ たが、今は製造工程全 体での自動化が求めら れている。搬送、セッ ト、少量多品種生産に おける段取り替えなど の工程を、自動で行え る製品やソフトウェア などが出てきている。 プラスチック削減の 動きや製造工程全体の 自動化など、包装業界 のトレンドに即する展 示や発表が、本展でも 多く見られることが予 想される。」

「包装業界では、昔は 機械単体の自動化が求 められることが多かつ たが、今は製造工程全 体での自動化が求めら れている。搬送、セッ ト、少量多品種生産に おける段取り替えなど の工程を、自動で行え る製品やソフトウェア などが出てきている。 プラスチック削減の 動きや製造工程全体の 自動化など、包装業界 のトレンドに即する展 示や発表が、本展でも 多く見られることが予 想される。」

JAPAN PACK 2023

あす開幕

東京ビッグサイト



「包装ライフサイクルコーナー」では、将来の環境負荷ゼロを目指すためのソリューションが披露される(前回の展示会、提供=日本包装機械工業会)

セミナー

3日時から、基調講演が二つ行われ、東展示棟6ホール内「自動化ステージ」では「製造業DXについて」をテーマに経済産業省製造産業局の松高大喜氏(製造産業戦略企画室室長補佐)が、製造業向けデジタリ変革(DX)の国内外の動向、課題や政策の方向性について講演する。東展示棟3ホール内「環境ステージ」では「資源循環経済政策について」をテーマに経産省産業技術環境局の田中将吾氏(資源循環課課長)が、経産省が策定した「成長志向型の資源自律経済戦略」の実現に向け、産官学サキユエ環境コンソーシアム(環境配慮設計)「プラスチックの適正使用」の「新素材・代替素材の提案」「廃棄ロスの削減」「3R+Renewableの推進」に関する新たな役割や付加価値が提案される。過去最多の20社・団体が参加する。

自動化・環境

「自動化・環境ソリューションコーナー」では、20社以上が参加する。不足の解消やDXの推進など、現場の生産性向上に寄与する「自動化ソリューション」では、「未来への包程式」(ゼロ)をテーマに、容器包装にまつわる国内外の最新動向や、ライフサイクル全体の可視化、個別製品のライフサイクルに関する展示を、実物や数値を用いて行う。さまざまなソリューションを掛け合わせ、将来の環境負荷ゼロを目指す。

表彰

また、日本包装機械工業会が包装機械、包装関連機器、包装資材など、新規性、独創性、安全性、省エネ性などの観点から表彰する「JAPAN PACK AWARD 2023」が行われる。生産性や品質の向上、人手不足や環境課題解決などに向けた新製品・新技術の登場が期待される。表彰式が4日13時半から、東展示棟6ホール内「自動化ステージ」で行われる。受賞製品のパネル展示コーナーは、東展示棟3ホール内に設けられる。

CLOMA

クリーン・オーシャーン・マテリアル・アラ イアンス(CLOMA)が参加する。成長志向型の資源自律経済戦略の実現に向け、容器包装における環境配慮設計「プラスチックの適正使用」の「新素材・代替素材の提案」「廃棄ロスの削減」「3R+Renewableの推進」に関する新たな役割や付加価値が提案される。過去最多の20社・団体が参加する。

ライフサイクル

「包装ライフサイクルコーナー」では、「未来への包程式」(ゼロ)をテーマに、容器包装にまつわる国内外の最新動向や、ライフサイクル全体の可視化、個別製品のライフサイクルに関する展示を、実物や数値を用いて行う。さまざまなソリューションを掛け合わせ、将来の環境負荷ゼロを目指す。

「プラ減量」提案 製造工程全体の自動化推進

「包装業界では、昔は 機械単体の自動化が求 められることが多かつ たが、今は製造工程全 体での自動化が求めら れている。搬送、セッ ト、少量多品種生産に おける段取り替えなど の工程を、自動で行え る製品やソフトウェア などが出てきている。 プラスチック削減の 動きや製造工程全体の 自動化など、包装業界 のトレンドに即する展 示や発表が、本展でも 多く見られることが予 想される。」

スタートアップ

「スタートアップ&アカデミックエリア」にも、自動化・環境に関する製品・技術が集まる。先進的かつ革新的な製品・技術の開発・研究・提供を行っている14のスタートアップ企業、教育・研究機関が、最新技術や研究成果を披露する。会場内で行われる「ピッチプレゼン」では、プラスチックや有機フッ素化合物(PFAS)を含まない紙製容器や、触覚センサーを活用した検品・品質管理ソリューションなどが紹介される。

表彰

また、日本包装機械工業会が包装機械、包装関連機器、包装資材など、新規性、独創性、安全性、省エネ性などの観点から表彰する「JAPAN PACK AWARD 2023」が行われる。生産性や品質の向上、人手不足や環境課題解決などに向けた新製品・新技術の登場が期待される。表彰式が4日13時半から、東展示棟6ホール内「自動化ステージ」で行われる。受賞製品のパネル展示コーナーは、東展示棟3ホール内に設けられる。

あらゆる種類の液体輸送に

—シンプルな機構、洗浄が簡単—

ステンレス ルーポンCFシリーズ
化学、化粧品、薬品、食品など新鮮さを送る液体輸送にお役にたて下さい。

小間番号 5-509

株式会社 花塚製作所
本社・工場 宇都宮市宝木本町1241番地 ☎028(665)2831 FAX 028(665)1957
大阪営業所 大阪市淀川区西中島6-4-13 ☎06(6885)8770 FAX 06(6885)8772
URL: <http://www.hanatsuka.co.jp> E-mail: eigy@hanatsuka.co.jp

未来への包程式

—当り前のその先へ—

JAPAN PACK 2023

日本包装産業展

2023.10.3 TUE - 6 FRI 10:00-17:00 東京ビッグサイト [東展示棟2~6ホール]

生産現場の自動化・効率化、持続可能な社会の実現へ向けて 包装にまつわる今とその先のトレンドが一堂に集結

最新情報と来場事前登録は公式ウェブサイトから www.japanpack.jp

主催:一般社団法人日本包装機械工業会

ロール反転リフトシリーズ

内径チャック式 外径チャック式

メガロール反転リフト
最大 250kg
型式:RT250MDD-AS

重いロールもらくらく反転、機械への装着も容易にできます。
最大 100kg
型式:RT100MHTJW

横回転式アシスト付
最大 600kg
型式:GRLM600MDD-AS

JAPAN PACK 2023 小間番号 **4-709**

お客様のご要望に合わせてカスタマイズ対応可 デモ機貸出し対応可

KYOMACHI 京町産業車輛株式会社
https://kyomachi.net/

本社・工場 〒920-0848 石川県金沢市京町1-10番30号
TEL(076)251-0111(代) FAX(076)251-0012
TEL(076)251-0111(代) FAX(076)251-0012
東京営業所 〒135-0052 東京都江東区潮見2-1-3-407
TEL(03)5677-1056(代) FAX(03)5677-1066
大阪営業所 〒569-0065 大阪府高槻市城西町2-1-2-302
TEL(072)861-8062(代) FAX(072)681-8063

パイオニアクリーン環境機器

品質向上のために 靴底を空気でキレイに オーダーメイド対応

クリーンルームダスター **エア吸着マット** **洗浄型パスボックス**

3方より同時吹き出し 全身に付着したゴミを吹き飛ばします。
床面より吸い取る 噴射後の空気を足元から吸い取って回収します。

工場や事務所の通路、エアシャワーの中に。
ブラシで掻き出し、エアで吸引。
設置もメンテナンスも安全にも配慮。

高速空気噴流でゴミ・異物を吹き飛ばす
特殊ノズル(PAT)で袋物にも対応可能

営業品目 クリーンルームダスター・シューズクリーナー・クリーンエアカーテン・空気清浄機・エア吸着マット

株式会社 **パイオニア** 風力機

本社・工場 〒458-0847 名古屋市長区津島3-2-5
TEL(052)892-6856(代) FAX(052)892-8803
東京営業所 〒226-0025 横浜市西区十日町3-1-1
TEL(045)962-5005 FAX(045)962-5216
九州営業所 〒979-1504 大分県延喜郡日出町大分2929-3
TEL(0977)72-9301 FAX(0977)72-9239
東北営業所 〒982-0841 仙台市太白区向山3丁目1-10
TEL(022)217-8620 FAX(022)217-8621
E-mail/info@paionia.co.jp URL/http://www.paionia.co.jp/

品質と効率を高めつつ、安全・安心・簡単を追求した新しいカタチ

◆張り範囲業界トップクラス
◆安全・安心・新規性のある作業体験
◆ウェブ検査に最適な高品質搬送・巻取
◆検査効率の向上

スリッター・リワインダーの専門ブランド

JAPAN PACK 2023 小間番号 **3-511**

株式会社 **東伸**
〒503-0985 岐阜県大垣市野口3-1-2
TEL(0584)91-9111 FAX(0584)91-9106
https://www.cstoshin.co.jp

パイオニア風力機

パイオニア風力機はクリーン環境機器の総合メーカー。「クリーンルームダスター」は同社の主力製品で、工場の入り口に設置して使用する。秒速20以上の高速エアを装置の天井と左右側面の三方から吹き出し、身体に付いた毛髪やゴミなどを吹き飛ばす。これらを床面から吸い取る独自の仕組みで、高い異物除去能力を発揮する。

このほか、靴底や車輪の汚れを瞬時に除去する高性能な「エア吸着マット」や、高速空気噴流で通い箱のゴミや異物を吹き飛ばす「洗浄型パスボックス」などをそろえ、製品品質の向上と快適な職場環境の実現に貢献する。

イシダ

イシダは「環境と未来をつなぐ包装のイノベーション」をテーマに展開する。会場では「包装技術」「課題解決」「環境対応」の3点を軸に対応製品とソリューションを紹介する。

注目の製品はトップシール商品などの包装時にフィルムを直接印刷するプリンター「iDRP」。インクリボンとペーパーが不要で、資材・ゴミを大幅に削減できる。

ほかにも、さまざまな詰め方・箱サイズに対応し無駄のない箱詰めを行うオートゲージ「ACPRO2」も出品。パレットを最大限に使用でき、トラック積載効率・輸送効率の向上に貢献する。

JAPAN PACK

有力企業の製品・技術

順不同

次世代グラビアの新提案。New FX3

環境にやさしい自動レーザーグラビア製版システム

幅広1100mm基材対応。軟包装水性インクジェットプリンター

FXIJ type 1000 FullAuto SP

THINK LABORATORY Co.,Ltd. 株式会社 シンク・ラボラトリー
2023.10.3-6 東京ビッグサイト 当ブース3-211
http://www.think-lab.com e-mail:think@think-lab.co.jp

ハナガタ

ハナガタは企画・設計から部品製造、機械組立てまで自社で一貫する「垂直統合型生産体制」を採用しているフィルム包装機械の製造会社。設計から部品・一点生産まで、お客様のニーズにあった包装機械をオーダーメイドで提供する。

今回は「省人化」をテーマに多機種を出品。特に汎用性の高いし型自動包装機「自動段取り替え機能」を搭載した工場自動化（FA）モデルに、スマートフォンで操作できるリモートオペレーション機能を新たに採用した。作業者・技術者の不足課題に向けた包装ラインの美演や、長尺製品対応モデルなど顧客のニーズに応える包装機械を展開する。

大森機械工業

大森機械工業は「生産性の向上」「環境対応」「省資源化」「フードロス削減」をキーワードに、1ラインと実機10台を展示する。「サステイナブル包装ライン」は高速・高密度封で個包装する高速横巻ヒロー包装機「NSW7000BX」と、ロケットによるピッキングアンプレス、マルチパック包装を行う高速逆ピロー包装機「NSW7600BX」を組み合わせたラインだ。

従来の包装機では難しかった紙材の精巧な製袋を可能にしたことや、ホットメルトアブリケターを内蔵したことなどにより、シーラント材が塗布されていない紙材（紙100%）にも対応できる点をアピールする。

京町産業車輛

京町産業車輛のモトローはユーザー・イン（顧客発想）。省力化をはじめとした多種多様なマテハンのニーズに顧客の工場、作業内容などに合わせて各種機器の改造などの相談にも応じ、迅速な提案をする。

「くるんぱ」は原料投入に最適な装置で、ポール容器や斗缶などから業務用の大袋まで対応。「ロール反転リフト」シリーズは、ロールの搬送・反転・昇降が可能で機械への装着も容易にできる。内径・外径チャック式には大型重量ロール搬送用として、アシスト付きと特別仕様のアシスト内蔵タイプがある。滑りやすい素材のロールには底面を保持するたれ防止のアタッチメントも用意した。

Sustainable Packaging Line

新型横ヒロー包装機 **NSW-7000** サステイナブル包装ライン

高速密封のヒロー個包装からマルチパックまでの一貫ラインを紙100%包装で実現

大森機械工業株式会社 お客様相談センター 0120-89-2180
〒343-0822 越谷市西方面2761 TEL 048-988-2121 HP https://www.omori.co.jp/

東伸

東伸は高速でコンパクトな新型機種、スリッター「eS」とリワインダー「eR」。「mR」を披露する。使い手の安全・安心を高め、新素材対応や生産性向上に威力を発揮する。3機種はシンプルで設計し、使いやすさを追求。直観的操作ができるタッチパネルと連動動作を採用した。きめ細かい制御により、低張力から高張力まで張力変動を抑え、デリケートな新素材への対応を可能とした。

全方位から確認できる発光ダイオード（LED）警告灯と、白を基調としたボディーカラーが特徴。レイアウト変更しに便利なキヤスター付き。標準オプションで欧州の安全規格「CEマーク（DLC）」にも対応している。

シンク・ラボラトリー

シンク・ラボラトリーは軟包装水性インクジェットプリンター「FXIJ」で印刷・商品化したサンプル展示や、自社内ビジネスモデル工場での小ロットパッケージ請負実績を紹介する。

グラビア製版関連では、レーザーグラビア製版システム「NewFX3」の最新スクリーン「AFdot」による高画質化された印刷サンプルを展示する。また印刷工程で不具合を軽減するオフライン自動ペーパー研磨装置を、デモを交えて実機展示する。さらに電子材料への活用で多数実績のある高精度グラビアロールの請負から、自社内設備であるダイマンドライカ（ポン）（DLC）コーティング装置を紹介する。

花塚製作所

花塚製作所はステンレス製ポンプと定量充填機の特長を生かした「液体輸送用ポンプ」の「CFPシリーズ」は100種類から高粘度の液体輸送に対応の接液部・駆動部の完全分離型で「分解・洗浄・組み立て」が容易の独自メカニカルシールを採用し衛生的な吐出量の変化が少なく、任意設定が可能の自吸式で騒音が低いなどの特徴を持つ。

定量充填機は連続・間欠運転とも安定した充填量で、量も変更しやすい。液切れに優れた特殊ノズル装置などを装備している。

液温は約100℃から100℃まで対応しており、食品や化粧品、化学製品などを輸送できる。

JAPAN PACK 2023 日本包装産業展

セミナープログラム

10月3日(火)

環境ステージ [東3ホール]

3-3.1 11:00-12:00 基調講演 資源循環経済政策について 田中 哲吾氏 [経済産業省]

3-3.2 13:00-14:00 特別講演 味の素グループのサステナビリティ戦略 森島 千佳氏 [味の素(株)]

3-3.3 14:30-16:30 特別企画[CLOMAパネルディスカッション] 日本のサーキュラーエコノミーを牽引する〜CLOMAメンバーの取り組み〜 (コーディネーター) 棚田 康一氏 [CLOMA事務局] (パネリスト) ネスレのサステナブルパッケージの取り組み 藤本 未来氏 [ネスレ日本(株)]

プラスチック資源循環に向けた日用品業界の取り組み紹介 田村 英子氏 [花王(株)]

持続可能なプラスチック利用に向けたイオンの取組 鈴木 隆博氏 [イオン(株)]

資源循環を軸にした互助共助の仕組みづくりへの挑戦 田部 進一氏 [アミタ(株)]

自動化ステージ [東6ホール]

3-6.1 11:00-12:00 基調講演 製造業DXについて 松高 大智氏 [経済産業省]

3-6.2 13:00-13:50 特別講演 (株)明治の菓子工場における自動化の実態とDX化への提言 伊田 寛氏 [(株)明治]

3-6.3 14:20-15:10 JAPAN PACKセミナー AIビジョンとロボットで食品業界の未来をつかむ 中川 友紀子氏 [(株)アールティ]

3-6.4 15:40-16:50 Special Session (English lecture) Aiming for Easy-to-Introduce Automation in the Packaging Fields Dr. Kiyonori Inaba [FANUC CORPORATION] Introduction of recent legislation on plastic packaging and waste in Japan and future directions Mr. Shusei Matsuda [TOYOBO PACKAGING PLANNING SERVICES, INC.]

10月4日(水)

環境ステージ [東3ホール]

4-3.1 10:30-11:20 JAPAN PACKセミナー 持続可能な社会の実現に向けて DNP環境配慮パッケージングGREENPACKAGINGとDNPGREENサポートプログラム 宇都宮 由花氏 [大日本印刷(株)]

持続可能な社会の実現に向けてパッケージでできること 三瓶 謙二氏 [TOPPAN(株)]

食品古紙の回収・再利用システムの構築について 三浦 高弘氏 [王子ホールディングス(株)]

プラスチック容器包装の資源循環・環境配慮 久保 直紀氏 [プラスチック容器包装リサイクル推進協議会]

4-3.2 12:00-13:00 特別企画[環境に配慮した包装技術と未来] CTG(チャージコンパクション)技術による減プラと生産性向上 橋本 哲氏 [(株)イシダ]

包装メーカーに出来ること〜環境に配慮した包装資材(紙化)および包装資材の削減について〜 有賀 政行氏 [大森機械工業(株)]

脱炭素社会と循環型社会の実現に向けて 窪井 宏行氏 [(株)川島製作所]

4-3.3 13:30-14:20 JAPAN PACKセミナー 包装資材の削減に向けた取り組み 三浦 佳子氏 [(一社)日本冷凍食品協会]

4-3.4 14:50-15:40 JAPAN PACKセミナー 環境問題から見える学校教育 関口 寿也氏 [全国小中学校環境教育研究会]

4-3.5 16:10-17:00 JAPAN PACKセミナー ライオンのプラスチック資源循環への取組み 中川 敦仁氏 [ライオン(株)]

自動化ステージ [東6ホール]

4-6.1 10:30-11:20 JAPAN PACKセミナー 最新スマート工場における自動化技術と環境配慮の取組事例 箕輪 巧氏 [(株)ニチレイフーズ]

4-6.2 11:50-12:40 日本包装機械工業会セミナー 食品工場に向けたDXソリューション 谷津 弦也氏 [アスリックス(株)]

画像IoTプラットフォーム「FORXAI」で実現する食品工場DX 今井 利幸氏 [コカ・コーダ(株)]

4-6.3 13:40-14:30 JAPAN PACKセミナー デジタルプリントを起点としたビジネス展開について 石橋 賢一氏 [TOPPAN(株)]

10月5日(木)

環境ステージ [東3ホール]

5-3.1 10:10-11:30 特別企画[包装ライフサイクルセッション] 持続可能な社会の実現に向けて DNP環境配慮パッケージングGREENPACKAGINGとDNPGREENサポートプログラム 宇都宮 由花氏 [大日本印刷(株)]

持続可能な社会の実現に向けてパッケージでできること 三瓶 謙二氏 [TOPPAN(株)]

食品古紙の回収・再利用システムの構築について 三浦 高弘氏 [王子ホールディングス(株)]

プラスチック容器包装の資源循環・環境配慮 久保 直紀氏 [プラスチック容器包装リサイクル推進協議会]

5-3.2 12:00-13:00 特別企画[環境に配慮した包装技術と未来] CTG(チャージコンパクション)技術による減プラと生産性向上 橋本 哲氏 [(株)イシダ]

包装メーカーに出来ること〜環境に配慮した包装資材(紙化)および包装資材の削減について〜 有賀 政行氏 [大森機械工業(株)]

脱炭素社会と循環型社会の実現に向けて 窪井 宏行氏 [(株)川島製作所]

5-3.3 13:30-14:20 JAPAN PACKセミナー 包装資材の削減に向けた取り組み 三浦 佳子氏 [(一社)日本冷凍食品協会]

5-3.4 14:50-15:40 JAPAN PACKセミナー 環境問題から見える学校教育 関口 寿也氏 [全国小中学校環境教育研究会]

5-3.5 16:10-17:00 JAPAN PACKセミナー ライオンのプラスチック資源循環への取組み 中川 敦仁氏 [ライオン(株)]

自動化ステージ [東6ホール]

5-6.1 10:20-11:50 特別企画[IoTと今後の展望] 包装機械のIoTと今後の展望 (コーディネーター) 宝塚 健児氏 [ジェイパックワールド(株)] (パネリスト) 田丸 慎司氏 [味の素食品(株)] 岡部 忠氏 [(地独)東京都立産業技術研究センター] 藤田 智之氏 [三菱電機(株)] 福井 豊二氏 [(一社)日本包装機械工業会] 田中 敦氏 [(一社)日本包装機械工業会]

5-6.2 12:20-13:10 JAPAN PACKセミナー 生産現場のIoT化による生産性向上と未来のモブづくりに対するDX化 石田 昭氏 [オムロン(株)]

5-6.3 13:40-14:30 JAPAN PACKセミナー 食品産業の労働生産性の向上について 丹野 輝氏 [(株)日本能率協会コンサルティング]

5-6.4 15:00-15:50 JAPAN PACKセミナー デジタルメディアチャレンジの取り組み 市岡 裕嗣氏 [三菱電機(株)]

10月6日(金)

環境ステージ [東3ホール]

6-3.1 10:30-11:15 特別講演 企業環境による使用済みプラスチック循環社会への挑戦 横井 恒彦氏 [(株)アルプラスジャパン]

6-3.2 11:45-12:45 特別企画[CLOMAセッション(第1部)] 多層技術・二重容器から環境対応へ進化した今までのない画期的な容器[スポットEcoボトル] 吉田 政一郎氏 [キョーラク(株)]

環境配慮型A-PETプラスチックカップのご紹介 寺川 雄介氏 [東名化学工業(株)]

新しい脱プラパッケージ〜バーゼル発泡成形品/PaperFoam®のご紹介〜 今井 宏樹氏 [NISSHA(株)]

6-3.3 13:15-14:15 特別企画[CLOMAセッション(第2部)] 廃プラスチックのケミカルリサイクルと未来の理想像 野田 修嗣氏 [環境エネルギー(株)]

プラスチックゴミゼロへの挑戦 前原 志保氏 [グンゼ(株)]

プラスチックマテリアルリサイクル技術〜静電選別技術〜 井筒 康人氏 [三菱電機(株)]

6-3.4 14:45-15:45 特別企画[CLOMAセッション(第3部)] デジタル印刷を用いた軟包装材の包材ロス削減について 吉田 潤一氏 [福島印刷工業(株)]

木材パルプから作られる機能性フィルム・環境対応素材 杉山 公寿氏 [レンゴウ(株)]

海洋プラスチックごみ問題に挑む企業アライアンス「CLOMA」 渡辺 真司氏 [CLOMA事務局]

自動化ステージ [東6ホール]

6-6.1 10:30-11:20 特別講演 [Well-being実現に向けた日清食品における変革] 〜日清食品が考える働き方改革・社会課題の解決を実現する打ち手とは?〜 深井 裕裕氏 [日清食品(株)]

6-6.2 11:50-12:40 JAPAN PACKセミナー ユーザーとメーカーが実現する包装機械を活用した効率的で安全な作業 棚田 康文氏 [長岡技術科学大学]

6-6.3 13:10-14:00 JAPAN PACKセミナー 中小企業製造業へのロボティクスと合本主義による最先端技術の高度社会実装 一AIロボット・デジタルツイン・量子コンピューター 萩野 武氏 [(一社)日本惣協協]

6-6.4 14:30-16:00 特別企画[製パン製菓技術トレンドセッション] ベーカリー業界の現状と機器のご紹介 沼澤 伸徳氏 [三幸機械(株)]

弊社取り扱い主力商品の紹介 飯田 彰氏 [(株)飯田製作所]

製パン製菓業界へ向けた「スマートファクトリー化提案」 川瀬 雅雄氏 [(株)マズダック]

(協)日本製パン製菓機械工業会